

1 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？

2 1世紀に中国へ使いを送ったことが歴史書に記された、いまの福岡県あたりにあったとされる倭の国を何という？

3 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？

4 弥生土器の名称の由来となった、最初に見つかった場所の地名は何という？

5 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？

6 弥生時代、奴国の使者が金印を授かった、当時の中国の王朝を何という？

7 57年に奴国の使者が訪れ、金印を授けたとされる後漢の皇帝を何という？

8 弥生時代に導入された金属器のうち、硬度が高く、刃先などの実用的な道具として生産力の向上に貢献したものを何という？

9 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？

10 弥生時代に大陸から伝わり、武器としてではなく、祭祀や儀式の際に用いられた青銅製の釣り鐘型の道具を何という？

11 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？

12 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？

13 1世紀に日本の奴国の王から使者が送られた際、返礼として金印を授けた後漢の皇帝は誰？

14 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？

15 福岡県の志賀島で発見され、1世紀に中国の皇帝から日本の王に贈られたことを示す重要な遺物を何という？

16 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？

17 弥生時代に大陸から伝わり、銅剣や銅矛などの作成に用いられた技術のことを何という？

18 高床倉庫の柱に取り付けられた、ネズミが倉庫の中に侵入するのを防ぐための工夫を何という？

19 古代中国の記録などを通じて、当時の日本（倭）の状況を知ることができる資料のうち、出来事や制度を記録した書物を何という？

20 銅剣や銅矛が多く出土しており、銅鐸の主な出土地帯とは異なる特徴を持つ地域はどこ？



① 書く
鉛筆で答えを書く

② 隠して言う
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説	▼ここで折る	答え	言えた
1	吉野ヶ里遺跡は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。		吉野ヶ里遺跡	☐
2			奴国	☐
3	銅鐸は、このような祭りの中で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。		祭り	☐
4	1884年、東京都文京区の弥生町で特徴的な土器が発見されました。		弥生町	☐
5	ローマ帝国は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。		ローマ帝国	☐
6	57年、九州の奴国の使者が中国の王朝である後漢の皇帝を訪れ、朝貢を行いました。		後漢	☐
7	光武帝は、57年に九州の奴国から訪れた使者に対し、朝貢の返礼として金印を授けました。		光武帝	☐
8	鉄器は主に農具の刃先や、武器としての剣や矛などに加工されました。		鉄器	☐
9	銅鐸は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。		銅鐸	☐
10	銅鐸は、主に近畿地方を中心に分布しており、弥生時代の村の共同体で行われる祭りや儀式に使われたと考えられています。		銅鐸	☐
11	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『魏志倭人伝』と呼ばれます。		魏志倭人伝	☐
12	後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の志賀島で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。		志賀島	☐
13	当時の日本の「奴国」の王が、後漢の都に使者を派遣しました。それに対して、皇帝である光武帝は、親交のしるしとして「漢委奴国王」と刻まれた金印を授けました。		光武帝	☐
14	『後漢書』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。		後漢書	☐
15	1784年、福岡県の志賀島で農夫によって発見されました。		金印	☐
16	鉄は青銅よりも硬く丈夫であるため、刃先として農具（鋤・鍬）や武器（剣・矛・鏃）などに加工されました。		鉄器	☐
17	金属器には主に銅製品（青銅器）と鉄製品がありました。		金属器	☐
18	柱の途中に板状の出っ張り（ネズミ返し）を取り付けることで、地面から登ってくるネズミがそれ以上進めないように工夫されていました。		ネズミ返し	☐
19	『後漢書』や『魏志倭人伝（三国志）』などが代表的な歴史書です。		歴史書	☐
20	青銅器の中でも、銅剣・銅矛は九州北部を中心とする西日本に、銅鐸は近畿地方を中心に多く出土し、文化圏がはっきり分かれていました。		九州地方	☐

言えなかった用語ノート